平成5年(1993年)3月15日　第529号

市の鳥
カワラヒワ

広報えびな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243－04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎（0462）31・2111

国分コミュニティセンター

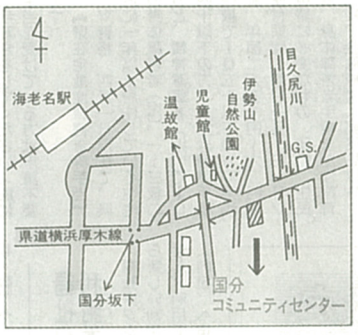
4月オープン

ホール壁面に七重の塔

またひとつ"地域の拠点"が完成！

去年の春から国分地区に建設を進めていた国分コミュニティセンターの工事が終了し、四月一日から市民のみなさんにご利用いただけることになりました。コミュニティセンターは、地域交流の場、地域社会活動の拠点としてみなさんに利用していただくことを目的とした施設です。今回は、市内で五館目の国分コミュニティセンターの概要をお知らせします。

国分コミュニティセンターは、海老名駅から東へ徒歩十分、伊勢山自然公園の南東で県道横浜厚木線の南側に位置しています。



同センターは国分、望地地区の地域の方々をはじめ、各種活動を通じて相互の交流を深めるとともに、より多くの人が多目的に利用することができます。

同センターの施設は、四月一日から使用できますのでご利用ください。センターの運営は、地域の各種団体から選出された方々で構成された国分コミュニティセンター管理運営委員会（26人）が自主的に行います。

薄い青色が目印

国分コミュニティセンターの規模は、敷地面積千六百九十八平方㍍、鉄筋コンクリート造り三階建てで延床面積千三百五十九平方㍍です。建物の外観は、薄い青色を基調とした明るいもので、玄関を入ると正面の壁に描かれた色鮮やかな"七重の塔"のレリーフが目に入ります。

このレリーフは、当センターの建設場所である国分地区に、天平の昔相模国分寺があり、七重の塔がそびえ建っていたとの伝説から、玄関ホールの三階天井までの吹き抜けの壁面に、十五㌢㍍四方のモザイクタイル約十万枚を使って"七重の塔"を表わし、シンボル化したものです。駐車場は敷地内に十五台（うち1台分は身体障害者用）が、また駐輪場は約二十台分がそれぞれ用意されています。

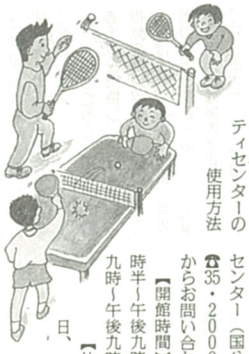
【一階部分】ステージ付きで二部屋に仕切ることのできる集会室（和室、59畳）や、幼児が楽しく遊べる保育室、茶道のための水屋がある休養室（和室、24畳）、談話コーナーなどがあります。

【二階部分】コーラスや楽器の練習ができる音楽室や、調理実習ができる実習室、五十人収容可能な学習室、二十人用の会議室などがあります。

【三階部分】卓球やバドミントン（コート2面）、バレーボールの練習ができるレクリエーション室（288平方㍍）などがあります。

開館したらみんなでご来館を

ご利用はお気軽に



国分コミュニティセンターの使用方法は次のとおりです。詳しくは同センター（国分南4－14－1、☎35・2000）へ、四月一日からお問い合わせください。

【開館時間】▽平日　午前九時半～午後九時半▽休日　午前九時～午後九時

【休館日】毎週月曜日、一月一日～三日と十二月二十九日～三十一日

【申し込み】国分・望地地区の方は一カ月前から、その他の地区の方は二週間前から所定の用紙で同センターに申し込んでください（申込受付時間は開館日の午前10時～午後3時、使用料は無料）。

なお、一階保育室、休養室、二階学習室は、通常は予約なしで利用できます。

ウインターイルミネーション写真コンクール入賞者

応募116点から金賞に塩沢さん

第四回えびなウインターイルミネーション・アマチュア写真コンクールは、三十人、百十六点の応募がありました。二月五日に日本写真家協会・（社）日本広告写真家協会代表のBAKU・F・斉藤さんを特別審査員として審査会を行った結果、次の方々が入賞しました。

なお、応募作品の展示会を四月一日から十四日まで、市役所一階エントランスホールで開催します。

金賞の作品「灯りの中の七重塔」

▽金賞「灯りの中の七重塔」塩沢俊克（国分北）
▽銀賞「ファンタジックナイト七重の塔」木村盛保（大和市）
▽銅賞「夕暮れ」三瓶宏（国分北）
▽入選「星降るタワー」鬼沢優子（藤沢市）、「夕暮れどき」石田博宣（上郷）、「幻想の塔」小栗善司（小田原市）、「天平の輝きをいまふたたび」露木栄一郎（国分北）、「タワーの夜空に満月」寺山記臣（藤沢市）、「昔日を偲ぶ七重の塔」西田重太郎（国分寺台）、「梅老名の夜」兼石義也（上郷）。

電球数当てクイズ　正解は2千722通

第四回えびなウインターイルミネーション電球数当てクイズには、三千二十四通の応募があり、正解は二千七百二十二通でした。正解者の中から二月五日に厳正な抽選を行った結果、次の方々が当選しました。

当選者には、東京ディズニーランドパスポート券（大人・小人各2枚）を贈りました。

【当選者・敬称略】甲斐まゆみ（河原口）、鈴木早苗（下今泉）、江成幹人（相模原市）、加藤既江（綾瀬市）、永島逸行（今里）、梅田裕美（望地）、串田聖子（厚木市）、鴨原和子（東柏ケ谷）、菅野友美子（国分寺台）、佐藤美幸（上今泉）。

福祉タクシー利用券新しく

福祉タクシーは、四月一日から新しい利用券でないと使えません。利用できる方は、福祉課（内451）へ申請してください。

心身障害者（児）へ手当

市と県から支給されます

市では、心身障害者（児）の方に、次の手当を支給します。受給資格は、いずれも四月一日現在、市内に在住している方です。該当する方は、五月三十一日までに申請してください（既に手当を受けている方は申請不要です）。

【市身体障害者年金】
一、二級の方（年額）一万二千円
三級の方　八千円
四～六級の方　五千円

【市特別福祉年金】
精神薄弱者（児）で
重度の方　一万二千円
中度の方　八千円

【市身体障害者手当】
軽度の方　五千円

▽申請に必要なもの　印鑑、身体障害者手帳または療育手帳、金融機関（郵便局以外）の口座がわかるもの▽申請期間　四月一日～五月三十一日
▽問い合わせ　福祉課（内451）

◇県では、重度障害者（児）に手当を支給しています。該当される心身障害者（児）の家庭は、四月三十日までに手続きをしてください（既に手当を受けている方は申請不要です）。

【県在宅重度障害者等手当】
▽資格　四月一日現在で、県内に一年以上居住している在宅の身体障害者（児）で一～三級の方と、精神薄弱者（児）でIQ四十以下の方、または身障手帳四級でIQ五十以下の方▽手当額　年額二万五千円～六万円▽受付期間　四月一日～三十日▽申請に必要なもの　印鑑、住民票、身体障害者手帳または療育手帳、金融機関（郵便局以外）の口座がわかるもの▽問い合わせ　福祉課（内451）または県障害福祉課（☎045・201・1111内5487）。

厚木市と結ぶ「相模小橋」架け替え工事始まる

海老名市、厚木市間の相模川にかかる相模小橋を永久橋に架け替える工事が平成七年末完成の予定で始まりました。

新橋は（仮称）相模川橋といい、長さ二百三十六㍍、幅九・五㍍のプーチ橋で、幅七㍍の車道の上流側に二・五㍍幅の歩道がつく計画です。

相模小橋（長さ100㍍・幅3㍍・鉄筋コンクリート製）は、昭和四十一年七月開通しましたが増水時には冠水して、たびたび通行止めになるうえ、海老名市からの一方通行で、夜間通行は禁止となっています。

海老名・厚木両市は、橋周辺の慢性的な交通渋滞を緩和するため、この小橋の架け替えを行うことになったものです。

老人医療費等の患者一部負担を改定

七十歳以上の方と、障害認定された六十五歳以上の方で、老人保健法の医療受給証をお持ちの方が、病院等で受診した際に負担していただく一部負担金の額が四月から改定されます。

また、海老名市が六十五歳からの一人暮らしの方と六十八歳からの方、および心身障害の方に行っている医療費助成の医療受給者証をお持ちの方も、同様に改定されます。

【四月からの患者一部負担金】
外来　一カ月　入院　一日
千円　七百円
※老人保健法の低所得者を対象とする入院一部負担金の特例（2カ月を限度として一日300円）は改定されません。

問い合わせは、保険年金課（内437～438）へ。

2中学校が表彰される

毎年行われる「全国中学生人権作文コンテスト」の実施に協力した中学生の人権意識高揚に尽くしたとして、このほど二校が法務省人権擁護局長と全国人権擁護委員連合会長から表彰されました。

▽有馬中学校▽今泉中学校

県営水道料金を改定

4月から平均18.1%

県営水道料金が4月1日から平均18.1%改定されます。

今回の改定は、人口の増加などによる水需要の増加に対応して、宮ケ瀬ダムの水を平成9年度から受け入れる施設や、地震に強い施設などの整備を行い、安全・良質な水を安定してお届けするためであり、12年ぶりにやむを得ず料金を改定させていただきました。

改定にあたり水道料金の福祉減免制度が拡大されます。

一般の家庭（1カ月24立方㍍）では、現在の料金1817円が2140円となり、323円の増加となります。

詳しくは水道局海老名営業所（☎34・4111）へお問い合わせください。

情報コーナー

◆平成5年度市職員募集　▽職種・人員　保健婦職若干名▽受験資格　昭和33年4月2日以降生まれで、保健婦資格のある方、または平成5年度中に保健婦資格を取得できる見込みの方。ただし取得見込みの方は、取得後の採用となります▽受験案内および申込用紙の配布期間・場所　3月31日（水）まで、市役所3階管理課▽受付日時・場所　3月31日（水）まで、午前9時～正午、午後1時～5時、市役所3階管理課人事係▽第1次試験日　4月9日（金）市役所会議室▽問い合わせ　管理課（内316・317）へ。

◆訪問看護婦（非常勤職員）の募集　市では、在宅療養者訪問看護事業として在宅で長期療養している方へ定期的に訪問し、療養上の世話をしてくださる看護婦を募集しています。次の条件を満たす方の中から採用しておりますので、希望される方は、保健相談センター（☎35・7880）へご連絡ください。
①看護婦免許（准看護婦を含む）を持つ方②看護業務の経験のある方③満60歳未満の方④訪問看護婦認定講習会を受講できる方。

◆平成5年度海老名市奨学生を募集　▽受付期間　3月15日（月）～31日（水）午前9時半～11時半、午後1時半～4時半▽受付場所　市役所706会議室▽給付奨励金　月2万円▽申し込み　4月7日（水）午後1時に本人が直接来所して申し込む（定員を超えた場合は抽選）。

◆駐留軍離職者に対する無料巡回相談　▽日時　3月25日（木）午前10時～午後3時▽場所　市役所702会議室▽対象　駐留軍関係を離職された方のみ▽問い合わせ　商工課（内511・512）。

◆93テニス教室（中級）▽日時　4月14日（水）～6月30日（水）10回、毎週水曜日午後1時～3時▽会場　県央地区体育センター（厚木市温水1329）▽対象・定員　初級としての基本技術をマスターした方60人▽受講料　千200円▽申し込み　4月7日（水）午後1時に本人が直接来所して申し込む（定員を超えた場合は抽選）。

◆地域米消費拡大料理講習会　お米を使った料理講習会で、今回は「いちご大福」を作ります▽日時　3月24日（水）午前10時～午後1時▽場所　市中央公民館調理実習室▽講師　石川園枝氏▽定員　30人（先着順）▽参加費　無料▽申し込み　商工課（内512）へ。

◆平成5年度市職員を募集　▽職種・人員　保健婦職若干名▽受験資格　昭和33年4月2日以降生まれで、保健婦資格のある方、または平成5年度中に保健婦資格を取得できる見込みの方。ただし取得見込みの方は、取得後の採用となります▽受験案内および申込用紙の配布期間・場所　3月31日（水）まで、市役所3階管理課▽受付日時・場所　3月31日（水）まで、午前9時～正午、午後1時～5時、市役所3階管理課人事係▽第1次試験日　4月9日（金）市役所会議室▽問い合わせ　管理課（内316・317）へ。

◆訪問看護婦（非常勤職員）の募集　市では、在宅療養者訪問看護事業として在宅で長期療養している方へ定期的に訪問し、療養上の世話をしてくださる看護婦を募集しています。次の条件を満たす方の中から採用しておりますので、希望される方は、保健相談センター（☎35・7880）へご連絡ください。
①看護婦免許（准看護婦を含む）を持つ方②看護業務の経験のある方③満60歳未満の方④訪問看護婦認定講習会を受講できる方。

◆平成5年度海老名市奨学生を募集　▽受付期間　3月15日（月）～31日（水）午前9時半～11時半、午後1時半～4時半▽受付場所　市役所706会議室▽給付奨励金　月2万円▽申し込み　4月7日（水）午後1時に本人が直接来所して申し込む（定員を超えた場合は抽選）。

情報は広報広聴課へ　市役所　〒243-04 海老名市勝瀬175　☎31・2111(代)

大谷親和会

去年は稲作にも挑戦

発足25年、福祉活動まで

市内大谷地区の男性で結成する大谷親和会（尾山郁夫第20代会長、会員90人）が発足から二十五周年を迎えた。

同会は、昭和四十三年、当時の青年団OBの有志が、地域の人々のコミュニケーションを深めるため結成したもの。会員は、二十歳から五十五歳と幅広く、あくまでも個人加入で、中には一家で二人加入している家もある。

最初は農家の友達同士の親ぼく団体だったが、都市化が進み新しい住民も増え、今では、いろいろな職業の人が参加している。現在は、夏の盆踊り、秋のレクリエーション大会、講演会などを開催しているほか、ソフトボールチームを編成し、去年は市の秋季大会で優勝するなど活動を続けている。特に今年度は、二十五周年記念事業として、会長所有の水田八㌃で稲作に挑戦。五月のもみまきから始め、田植え、草取り、稲刈りまですべて会員で行った。

「春から秋にかけては、稲が育っているかどうか、天気が気になってしかたなかったです。また、田んぼでみんなと農作業に汗を流して、会員同士の交流も深まりました」と言う声も。幸い天気にも恵まれ、もち米二百七十㌔を収穫。このもち米は、二十五周年式典で参加者に赤飯として振る舞ったほか、二月には養護老人ホーム中心荘で、もちつきを行い、お年寄りに昼食のおもちをサービスをした。また、発足以来二十五年間の歩みを記録した記念誌も発行した。

尾山会長は「これからは若い人たちもたくさん参加新しい住民も参加して、今……会員の職業もさまざましてもらえるよう工夫しながら、さらに福祉活動にも力を入れていきたい」と、地域活動二十五年の伝統による自信のほどを語っていた。

狂犬病予防注射と登録

注意事項を守り会場へ

市では、狂犬病予防定期集合注射と登録を別表の日程で行います。生後九十一日以上の犬は、年一回、狂犬病予防注射と、登録が義務付けられています。次の注意事項を守って必ず注射と登録を済ませてください。

①通知ハガキや愛犬手帳を持っている方は必ず持参してください。

②手数料は一頭につき、登録料などが二千五百八十円、注射料が二千六百二十円、計五千二百円が必要です（注射料は5年度から設定されました）できるだけ釣り銭のないように。

③会場での犬のフンは、飼い主が必ず始末してください。

④犬を連れて来られない事情のある方は、あらかじめ獣医師で注射を受け、当日その証明書を持参すれば登録できます。

⑤会場には、犬が暴れても押さえることができる人が連れて来てください。

⑥事故を防ぐため首輪とクサリがしっかりしているか事前に確認してください。

⑦健康状態の良くない犬、妊娠中の犬は、別の機会に獣医師で注射を受けてください。

⑧すでに犬を飼っていない場合は必ず連絡してください。

⑨当日の会場では、飼えなくなった犬の引き取りは行いません。

※問い合わせは保健相談センター（☎35・7880）へ。

月日	会場名	時間
4月5日(月)	社家児童館	10：00～11：00
	中河内自治会館	11：15～11：45
	杉久保児童館	13：00～15：00
4月6日(火)	国分寺台児童館	10：00～11：30
	中部福祉館（国分北）	13：00～13：50
	柏ケ谷コミュニティセンター	14：10～15：00
4月7日(水)	大谷コミュニティセンター	10：00～11：30
	国分寺台第4児童公園	13：00～14：00
	勝瀬文化センター	14：15～15：00
	門沢橋児童館	10：00～11：30
4月12日(月)	本郷児童館	13：00～13：50
	中野自治会館	14：10～15：00
	中新田コミュニティセンター	10：00～11：10
4月13日(火)	厚木保健所海老名支所	11：25～11：45
	河原口児童館	13：00～13：50
	今里自治会館	14：10～15：00
4月14日(水)	国分児童館	10：00～11：30
	柏ケ谷自治会館	13：00～13：20
	東柏ケ谷3丁目自治会館	13：40～14：10
	東柏ケ谷5・6丁目自治会館	14：30～15：00
4月15日(木)	上今泉コミュニティセンター	10：00～11：45 13：00～15：00
4月16日(金)	下今泉自治会館	10：00～10：45
	上郷児童館	11：00～11：45
	保健相談センター	13：00～14：30

みんなの伝言板

このコーナーに掲載を希望される方は、原稿を作成して……
◎広報広聴課（内272）へ
スペースの都合で掲載できない場合もあります。

◉学童保育の新入所児童募集　共働き、母子父子家庭などで放課後の保育を必要とする方ご連絡ください。

クラブ名	学区	電話	夜間連絡先
ありんこ	上星、今泉	33-0017	(馬渡)34-1091
ひばり	社家、門沢橋	38-5293	(佐藤)38-6062
杉の子	杉本、柏ケ谷	34-8438	(七澤)31-2910
風の子	中新田、有鹿	32-7923	(小松)34-3355

◉西洋料理OB会員募集　スペイン、イタリア、ロシアなどの家庭料理を楽しく作ります▽講師　新井コロンバ先生▽日時　第4木曜日午前9時半～正午▽場所　市中央公民館3階▽会費　千300円▽連絡先　和田（☎33・6521）または篠原（☎32・2102）。

◉ノンタンの会会員募集　外遊びを中心に、本の読み聞かせをします▽対象　2歳～未就園児▽日時　4月23日（金）午前10時半から▽場所　わかば会館（雨天中止）▽詳しくは青木（☎34・1790）、小林（☎38・6716）。

◉ジュニアバドミントンクラブ部員募集　▽対象　小学4年生以上の男女▽日時　毎週日曜日午後1時～2時半▽部費　月千円▽連絡先　伊藤（☎34・7043）。

◉海老名キッカーズ会員募集　▽対象　小学2～6年生▽練習日　主に土・日曜日▽場所　大谷小学校▽申し込み　往復ハガキに氏名・学校・学年・保護者氏名・住所・電話番号を記入して国分寺台2―11―19　石倉輝夫まで。

◉ソフト・エアロビスクアゲイン」新会員募集　お子さん連れも可。見学随時▽練習日　毎週金曜日午前10時～11時▽場所　大谷コミュニティセンターなど▽入会金　500円、会費月千円▽連絡先　午後7時以降　相澤（☎31・8662）、鈴木（☎34・1825）。

◉詩吟を始めませんか、初心者には先生が丁寧に指導します▽日時　第1・3木曜日午前10時～正午を予定▽場所　中新田コミュニティセンターなど▽会費　月2千円▽連絡先　宮部（☎34・7479）。

◉バッチワークサークル会員募集　▽日時　第2・4金曜日午前10時～正午▽会費　月千500円▽場所　河原口など▽問い合わせ　川野（☎32・0073）、栄木（☎33・0971）。

◉カウンセリング勉強会　登校拒否などで悩んでいる中高校生や社会復帰できずに悩んでいる若者たちへの「愛のカウンセリング教室」です▽日時　毎月第2・4水曜日午前10時～正午（1回目は4月13日）▽場所　厚木青少年会館▽問い合わせ　園田（☎27・4110）、本多（☎34・8728）。

◉相模川の水についての勉強会　県央地区暮らしを考える会では次のとおり勉強会を開きます▽日時　3月24日（水）午前10時～正午▽場所　厚木消費生活センター▽連絡先　辻（☎31・3011）。

◉上郷剣友会員を募集　▽対象　市内小・中学生と一般▽練習日時　毎週水曜日午後6時～8時、土曜日午後5時～7時▽場所　有鹿小学校体育館▽会費　月千円▽申し込み　田吹（☎33・5586）。

◉第13回身体障害者登山会▽日時　4月25日（日）小田原駅西口集、午前7時半の予定▽目的地　箱根・神山（1438㍍）▽募集人員　身体障害者60人、ボランティア20人～250人▽参加費　身体障害者は無料、ボランティアは一般8千700円、23歳以下8千円▽主催　山岳集団ベルククラブ、日本救急員連盟（神奈川県ほか海老名市など市町村が後援）▽申し込み・問い合わせ　主催者代表事務所〒250小田原市栄町2―12―40室井方（☎0465・23・0416）または海老名市福祉課（内451）、夜間の問い合わせ　梅沢祥巨（☎32・2879）。

◉花供養へのお誘い　4月8日は釈迦の誕生日、海老名市華道協会では花供養を行います。花一輪をお持ちのうえ、ぜひご参加を▽場所　中新田蓮願寺▽日時　4月8日午前10時～11時▽問い合わせ　若杉光葉（☎31・6617）。

◉つまみ画会会員募集　つまみかんざしの技法による額画作成▽日時　第4木曜日午前9時半～11時半▽場所　国分児童館▽会費　500円▽申し込み　諏訪（☎31・6053）。

◉ママさんソフトボール会員募集　大谷中学校区の方、経験を問いません▽練習日　第1・3土曜日、第2・4日曜日午後2時～5時▽連絡先　尾山（☎32・6918）。

◉ソフトバレーボール大会17チーム76人が参加

第一回ソフトバレーボール大会は、二月二十一日、市総合体育館で開催され、十七チーム七十六人の選手が参加しました。

ソフトバレーボールは、柔らかいボールを使い、四人制でバドミントンのコートを利用して行うので、年齢に関係なくだれにでも親しめるニュースポーツです。大会の結果は次のとおりです。

▽優勝　なかよしクラブスーパー▽準優勝　川本一家▽三位　サカイチーム▽四位　第二スカイパッツA

応援します！地域の交流

特集 コミュニティセンター

コミュニティセンターは第三次総合計画に基づき、地域のみなさんがさまざまな活動を通じ、相互に交流を深めることができる拠点施設として建設が進められています。すでに4館が開館しており、4月には国分コミュニティセンターも加わります。さらに来年4月には杉久保地区に開館を予定しているほか、将来的には市内に10館の建設が計画されています。今回は、これら施設の建設計画と利用状況などをお知らせします。

サークル活動にも活用を

生け花で"日本の美"を学ぶ中新田グループ「華(はな)」
(中新田コミュニティセンターで撮影)

10館計画で建設

コミュニティセンターは、昭和六十一年十二月に柏ケ谷地区に第一号館が開館。以来、昭和六十三年に大谷地区、平成元年に中新田地区、平成三年には上今泉地区に設置され、この四月には国分地区に市内五館目が開館します。

現在は、杉久保地区のコミュニティセンター建設に着手しており、来年の春には六館目として開館する予定です。

さらに今後の計画では、平成七年春に、門沢橋・中野地区と本郷・上司内・中司内地区に、また平成八年春には、社家・今里地区と上郷・下今泉地区の開館を予定し、第三次総合計画に基づく十館計画を達成する予定です。

各館の利用状況

平成三年度の各館の利用状況は次のとおりです。

◎柏ケ谷コミュニティセンター
(東柏ケ谷2―14―12 ☎31・7475)
相鉄線さがみ野駅から徒歩五分、さくら並木沿いにあります。利用者は、年間四万三千人、一日平均百四十人。

◎大谷コミュニティセンター
(大谷3311―1 ☎33・4457)
東名高速道路毎老名サービスエリアの北西側にあり、白い時計台が目印です。利用者は、年間三万四千人、一日平均百十人。

◎中新田コミュニティセンター
(中新田795 ☎31・7443)
JR・小田急厚木駅から徒歩五分。利用者は、年間五万四千人、一日平均百八十人。

◎上今泉コミュニティセンター
(上今泉1―5―32 ☎35・7100)
場所は相鉄線かしわ台駅から徒歩二十分、上星小学校の東側です。平成三年十月に開館後、一万五千人、一日平均百六人の利用がありました。

申し込み方法は

各コミュニティセンターには、レクリエーション室、保育室、集会室、学習室、実習室、休養室などが設けられており、利用に際しては当該地域の方で利用日の一カ月前から、他の地域の方で二週間前から各館で申し込みを受け付けています(学習室、休養室などについては随時受け付けを行っています)。

市南部に6館目

杉久保コミュニティセンター着工

杉久保コミュニティセンター完成予想図

市南部地域で最初のコミュニティセンターが、杉久保一〇六六番地に建設されます。平成六年四月の開館を目指し、建設費約五億六千万円ですでに着工しました。

場所は豊受神社の北西、県道杉久保座間線沿いで、城山バス停から徒歩三分のところです。

杉久保コミュニティセンターは、杉久保地区を対象エリアとし、この地区のみなさんで構成される管理運営委員会によって自主的に運営が行われる予定です。

施設の概要

杉久保コミュニティセンターは、敷地面積二千六百九十三平方㍍で、建物は鉄筋コンクリート造り二階建て、延床面積千百五十八・三八平方㍍です。施設の内容は次のとおりです。

【一階部分】集会室、休養室、保育室、レクリエーション室、ホール、談話コーナー、事務室など

【二階部分】学習室二室、実習室、会議室など

なお館の南側には、オープンデッキ、バルコニーを設け、日なたぼっこも楽しめます。

私たちも利用しています

上今泉コミュニティセンターを利用してストレッチ体操、ヨーガなどの練習に励んでいるのは、上今泉地区の主婦を中心に結成された「健康体操教室」のみなさん。30代から70代までと年齢層は幅広いのですが、講師の山崎美智子さんが年齢に関係なく楽しめる運動方法を考えてくれるので、終わったときには気分そう快、肩こりや冷え症も軽くなると大好評。

この教室は、特に会則も作らず、練習したいときだけ出席すればよいという自由な雰囲気を持っていますが、参加者は毎回40人を下らず、年々会員数は増えています。「やはり、身近に練習場所があることが出席者の多い要因になっているのでは…。運動を通じてお友達の"輪"は着実に広がっています」という声も。

管理運営は地域で

コミュニティセンターは地域のみなさんの施設です。その管理運営も地域のみなさんの手で行われており、各館ごとに地域でさまざまな活動をされている各種団体の代表の方が管理運営委員会を組織しています。

使いやすく、有効に活用していただけるよう利用者のみなさんのご協力をお願いします。

困ったときは市民相談室へ

経験豊かな相談員が親身になって…

ひとりで悩まずに

家庭のこと、仕事のこと、隣近所とのトラブルなど、どうしていいか分からず、困っていることはありませんか。

こんなときのために、市では「市民相談室」を開設し、みなさんからのさまざまな相談をお受けしています。ひとりで解決できない問題が生じたら、気軽に市民相談室においでください。

相談の内容や日時については、毎月十五日発行の本紙四面に掲載(下表参照)しています。

相談にこられた方のプライバシーは完全に守られますので、困ったときは迷わず市民相談室へおいでください。

相談をお受けするのは、次の方がたです。

気軽にどうぞ

各種相談お受けします

▽一般相談(市担当職員)▽法律相談(弁護士)▽消費生活相談(消費生活コンサルタント)▽登記相談(司法書士)▽不動産相談(宅地建物取引業協会員)▽人権相談(人権擁護委員)▽行政相談(行政相談委員)▽年金相談(年金相談員)▽婦人相談(県婦人相談員)▽建築相談(建築士事務所協会員)▽住宅相談(市建築職組合員)

相談員の自宅でも

各種相談のなかで、人権相談と行政相談は、相談員の自宅でも相談を受けけます。事前に電話で相談できる日時を確認しておいてください。相談員は、次の方がたです。

◎人権相談(人権擁護委員)
佐々木寿代(国分北二丁目23―36 ☎31・0455)
鴨志田英江(大谷3353―3 ☎32・4694)
中島　優(本郷550―1 ☎38・2481)
福島　達夫(東柏ケ谷1―19―11 ☎31・4938)
碓井　紀良(上郷51 ☎31・0949)
米山トシ子(社家1120―1 ☎31・8422)
近藤　淑子(中野395 ☎38・3947)

◎行政相談(行政相談委員)
萩原　松二(柏ケ谷7―1―3 ☎34・2253)
香川　寿雄(司原口79 ☎32・5627)

悩んでも解決しないときには相談を

また、交通事故相談や外国人相談など「県民相談室(厚木合同庁舎など)」で受けている相談もありますので、詳しくは市民相談室(内線)までお問い合わせください。

市民相談室

(☎33・4100直通)

電話による相談も受け付けています。法律相談、登記相談は予約制で相談日の一カ月前から予約ができます。

社会福祉協議会

市総合福祉会館内(☎35・0220)

高齢者の職業相談は、対象はおおむね65歳以上の方。

その他

青少年相談は、市図書館併設の青少年相談所(☎32・1011)で、**教育相談**は、市図書館併設の教育センター(☎34・8700)で。事前に電話で申し込みを。**就学相談**は、教育委員会指導室(☎31・2111内線)で。**幼児相談**は、わかば学園(☎35・2703)でそれぞれ行っています。

※以上の相談は、すべて土曜・日曜・祝日が休みとなります。

4月の相談

| 場所 | 市民相談室(受け付けは終了時刻の30分前までとなります) | | |

4月の文化会館

日(曜)	内容	開演	終演	入場方法	主催者
1(木)	なつめ会 ピアノグループ コンサート	13：00	16：00	自由	なつめ会ピアノグループ (38)5692
2(金)	第32回観劇会 文学座公演 「好色一代女」	18：15	21：00	会員のみ (当日入会可)	海老名演劇鑑賞会(34)2766
3(土)		14：00	16：45		
10(土)	大和市民吹奏楽団 定期演奏会	18：00	19：30	自由	大和市民吹奏楽団(33)3929
11(日)	大和高校吹奏楽部 スプリングコンサート	14：00	16：30	自由	県立大和高校吹奏楽部 (74)0026
17(土)	公民館まつり	11：00	16：00	自由	市立中央公民館 (32)3231
18(日)		10：30	16：00		
25(日)	京柳流創流30周年記念 チャリティー舞踊会	11：00	16：30	自由	京柳流扇寿会 (32)2703
29(木)	93年ドラえもん他1本	10：00	12：20	990円	㈱県央映画社 海老名出張所 030(533)2140
		13：30	15：50		

○問い合わせは主催者に。　○主催者の都合で変更になる場合もあります。
○関係者だけの催しは掲載していません。
○今月の休館日は6、13、20、27日です。

図書館・春の催し

映画会

【申し込み】　電話(31・5152)または直接図書館で。定員になり次第締め切ります。申し込み受付時間は午前9時～午後4時50分まで。

【会場】　図書館2階視聴覚室。

日(曜)	時間	対象	プログラム
25日(木)	①10：00～11：10	中学生以上 (当日直接会場へ)	①黄金狂時代(チャップリン)
	②13：30～16：30		②マイフェアレディ(ヘップバーン)
30日(水)	①10：00～11：10	定員100名 幼児向け (申し込み必要)	それいけアンパンマン (キラキラ星の涙)
	②13：30～14：40		
	③15：00～16：10		

おはなし会

宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」を、お聞きください。長い作品ですが、耳から聞くおはなしは、自分で読むのとはちがう感動が得られることと思います。中学生、高校生の方もぜひご参加ください。

【日　時】　3月26日（金）午後2時半～3時半。

【ところ】　図書館視聴覚室。

【対　象】　小学校4年生以上、一般成人。

【定　員】　50人（定員になり次第締め切ります）。

【朗　読】作品「セロ弾きのゴーシュ」福田陸奥子さん（まちだ語り手の会会員）。

【申し込み】　電話(31・5152)または図書館カウンターまで。

漂白の歌人「西行」展

古典文学講座「西行を考える」に関連して、2階展示コーナーで「漂白の歌人　西行」展を開催しています。

旅を通して、自然を愛し、人間を愛した西行の世界をご鑑賞ください。

【期　間】　4月6日（火）まで、午前9時～午後4時50分。

【内　容】○西行の生涯（代表歌と歌枕）

○西行物語絵巻（図書館資料）

○家集など（影印本）

まんまるの赤ちゃん

井上　直也くん
望　地＝一歳二カ月
井上俊幸・由美子さんの二男

みかんが大好き。〝みんみ〟と言って、みかんを持っておじいちゃんのひざにのり、皮をむいてもらうとご機嫌。

お姉ちゃん（6歳）とお兄ちゃん（4歳）と、仲良く遊びますが、おもちゃの取り合いになると二人の髪の毛を引っぱってしまい負けません。先日、お兄ちゃんが泣いていると〝いい子いい子〟と言って頭をなでるという優しい面も…。

佐藤　摩歩ちゃん
杉久保＝一歳一カ月
佐藤敬一・美和子さんの長女

元気で思いやりのある子に育ってほしい。

初めて会う人でも、人見知りせず、にこにこよく笑う子です。

絵が好き。自分でめくっておとなしく見ています。また、音楽が流れていると、曲に合わせて、にこにこしながら体を動かします。

最近、つたい歩きができるようになり、タンスの引き出しを開けて中の物をみんな出してしまいます。去年の暮れ、かぜをひいてびっくりさせられました。

だれからも好かれて、健康に育ってほしい。

和田　彩音ちゃん
杉久保・一歳一カ月
和田修二・直美さんの長女

名前を呼ぶと〝ハァーイ〟と手を上げ自分で、いい子いい子します。

ハイハイが得意。家中を動き回って、追いかけるのが大変…。しかし、慎重なのか危ない場所には、近づきません。

テレビをつけておくと、コマーシャルのたびに、遊びをやめてじっとテレビを見ています。

食べ物は、なんでも驚くほどよく食べます。中でもイチゴが大好き。優しい子に育ってほしい。

4月の日程

みんなの児童館

社会教育指導員が各児童館をまわって手づくりおもちゃの作り方や子供に合わせたいろいろな遊びの指導をしています。

四月の内容は「ブーメラン、飛行機を作ってみんなで遊ぼう」「五月人形、こいのぼりを作ろう」。参加費は無料。参加者は直接会場へ。問い合わせは社会教育課（内603・686）へ。月曜日は休館日。

各児童館の巡回指導日は次のとおり。時間はAが午前9時から正午まで。Bが午後1時半から4時半まで。

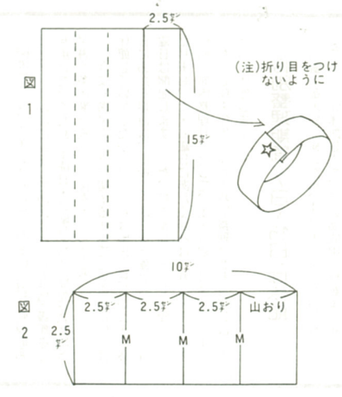
◇国分児童館　2日A、8日B、13日B、29日B
◇大谷児童館　4日A、10日A、16日B、25日A
◇国分寺台児童館　2日B、8日B、15日B、28日B
◇河原口児童館　7日B、18日A、23日B、28日B
◇上郷児童館　8日B、16日B、25日A、30日B
◇社家児童館　5日B、13日B、20日B、27日B
◇杉久保児童館　9日B、14日B、23日B、30日B
◇門沢橋児童館　6日B、15日B、23日B、27日B
◇本郷児童館　10日B、14日B、22日B
◇上河内児童館（休館日なし）　2日A、12日B、26日B
◇柏ケ谷コミュニティセンター　7日B、14日B、22日B、28日B
◇上今泉コミュニティセンター　4日A、11日A、15日B、21日B
◇勝瀬文化センター　7日B、11日A、21日B、27日B
◇中新田コミュニティセンター　2日A、13日B、21日B、29日A

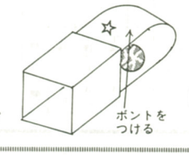
〝ワーイ　カブトマンだ〟

みんなでコロコロ　ひょっこり　たわらころがし　作ってみませんか！

【用意するもの】
①画用紙②はさみ③ホンド④セロハンテープ⑤ビー玉⑥フェルトペン。

【作り方】
①2・5㌢×15㌢の大きさの画用紙をまるめてはります（のりしろ1㌢くらい）＝図1。②2・5㌢×10㌢の画用紙を図2のように4等分して折り山線をひき、山おりにしてセロハンテープでは る。③四角の中に長まる（①）を通しビー玉を入れ、長まると四角（②）をはっておく＝図4。④ビー玉は長まるの幅に近い大きさのものを使う＝図4。⑤フェルトペンで、もようをつけましょう＝図5。





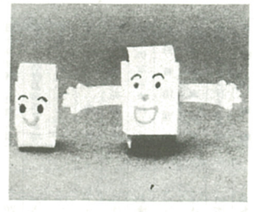


図5

【あそび方】
斜めの台において みてください。ひょっこり、ひょっこり、ころがりますよ。

4月の健康案内

病気で苦しむ前に

体調の良い時に予防接種を！

子供が病気で苦しんでいるとき、親なら誰しもその苦しさを代わってあげたいと思うでしょう。まして、予防接種で防ぐことのできる病気だったら、なおのこと「もっと早くにしておけば…」と思うでしょう。

予防接種は、伝染性の病気の原因となる細菌やウイルスを利用し、体内に免疫をつくって未然に病気を防ぎ、他の人に広がるのを防ぐ役目をします。

予防接種に使われるものがワクチンですが、どれも同じように体の中で作用するものではありません。

ポリオ・風しんに代表される生ワクチンは、病原性を弱めた病原体を生きたまま使用し、その病気に軽くかかった時と同じ状態にして免疫をつくるもので、接種後早くて七～十日、十分な免疫ができるまでに一～二カ月かかります。

日本脳炎・インフルエンザに代表される不活化ワクチンは、病原体の中から病気を防ぐのに必要な物質だけを採り出してつくったもので、十分な免疫をつくるためには何回かの接種が必要です。

破傷風・ジフテリアのトキソイドは、病原体によりつくられる毒素を無毒化し、免疫性を残したものです。

生まれたばかりの赤ちゃんは身を守るために、お母さんの胎盤を通して免疫（百日咳を除く）を受け継ぎますが、その免疫も生後六カ月を過ぎるころまでで、その後は病気にかかりやすくなります。そのため、予防接種が受けられる年齢になったら早めに接種して免疫をつくることが大切です。

予防接種の対象年齢はそれぞれ異なりますが、子供の体調の良い時に無理なく接種できるように期間を長くとってありますので、計画的に接種を受けてください。体調の良い時に受けることが、副作用を未然に防ぐことにもなります。また、予防接種の後は抵抗力が落ちますので子供に無理をさせず、健康状態に気を配ってください。まれに、熱が出たり、はれやしこりができることもありますが、通常二～三日で回復します。

ポリオ＜急性灰白髄炎＞生ワクチンの接種日程

四月二日（金）社家児童館、六日（火）柏ケ谷コミュニティセンター、七日（水）国分寺台児童館、八日（木）国分コミュニティセンター、九日（金）・十六日（金）保健相談センター、いずれも午後一時半～二時半受付（時間厳守）▽対象　生後三カ月～四歳未満の乳幼児（できるだけ18カ月以内に）▽接種方法　六週間以上の間隔で二回服用、四歳未満であれば間隔が長くても受けられます▽申し込み　当日母子手帳と予防接種問診票（小冊子）を持って、直接近くの会場へ▽問い合わせ　保健相談センターへ。

急患のときは…

医師会の協力を得て次の救急医療を行っています。

☆休日の昼間

▶内科・小児科　▷場所＝休日急患診療所（さつき町41、市健康センター内、☎31・1912）▷受付時間＝日曜・祝日の午前9時～11時半、午後2時～4時半

▶歯科　▷場所＝休日歯科診療室（さつき町41、市健康センター内、☎31・1939）▷受付時間＝日曜・祝日の午前9時～11時半、午後2時～4時半

※保険証、診察料を忘れずに。耳鼻咽喉科は市外の休日急患診療所を紹介します。

☆夜　間　テレフォンサービスで医療機関を紹介します。☎32・0108、32・0119、または市役所☎31・2111。

急病でない限り平日の昼間に

献血

4月13日（火）海老名駅東口、午前10時～正午と午後1時～4時。なお、4月から第2火曜日に変更しました。

◇事業所献血　午前10時～正午と午後1時～3時◇

4月8日（木）・9日（金）富士ゼロックス㈱、4月21日（水）富士コカ・コーラ㈱、4月28日（水）㈱日立製作所

☆ご協力ありがとう～2月分～

市役所　112人（海老名飛鳥ライオンズクラブ）

海老名駅東口　67人

※成分献血推進キャンペーン～4月から

成分献血は血液中の血しょうなどを採り、赤血球を体内に戻すので体への負担が少ない方法です。今後、成分献血の普及に努めていきますのでご協力をお願いします。

父親教室

四月十七日（土）保健相談センター、午前九時～九時半受付▽対象　初めて父親となる方▽内容　育児・赤ちゃんのおふろの入れ方、妊娠・出産・産後における夫の役割▽申し込み・問い合わせ　同センターへ。

がん集団検診

四月二十八日（水）、保健相談センターで次の五種類のがん検診を行います。

▼胃がん▲
午前八時半～十一時受付▽対象　四十歳以上の方、百四十人▽内容　胃部エックス線間接撮影▽受診料　五百円。

▼大腸がん（胃と併用）▲
午前八時半～十一時受付▽対象　四十歳以上の方、百四十人（単独で検診可）▽内容　便潜血反応検査▽受診料　百円。

▼乳がん・子宮がん▲
午前十時～十時半と午後一時～一時半受付▽対象　三十歳以上の女性、乳がんは百八十人、子宮がんは二百人▽内容・受診料　乳がんは問診と触診で百円、子宮がんは問診、細胞診、頭がん検診（内診）の三検診で四百円、頭がんプラス体がん検診（問診の結果で必要と判定された方のみ）で八百円。

▼肺がん▲
午前八時半～十一時と午後一時～二時受付▽対象　四十歳以上の方、二百人▽内容・受診料　問診、胸部エックス線撮影で百円、プラスたんの細胞検査（問診の結果で必要とされた方のみ実施）で四百円。

※以上の申し込み、問い合わせは保健相談センターへ。

保健相談センター（☎35・7880）

健康相談

四月十二日（月）市役所、四月二十一日（水）保健相談センター、両日とも午前九時半～十時受付▽対象　成人▽内容　健康全般についての相談▽申し込み　当日、直接会場へ▽問い合わせ　保健相談センターへ。

市民医療相談

治療上の悩みや医師へのかかり方など、医療全般についての相談を受け付けています。

相談にのってくださる方は、東海大学医学部教授・県産婦人科医会会長の藤井明和先生です。

四月の開設日は次のとおり。

▽開設日　六日（火）、八日（木）、十五日（木）、二十日（火）、二十二日（木）、二十七日（火）の六日間▽場所　保健相談センター▽申し込み　電話で同センターへ予約を。

乳幼児の健診と相談

保健相談センター　☎(35)7880　厚木保健所海老名支所　☎(32)7911

事業名	月日・受付時間	会場	対象	内容	問い合わせ	申し込み
3ヵ月児健康診査	4月22日(木) 13:00～14:00	厚木保健所海老名支所	4年12月生まれの人	診察、身長・体重測定	厚木保健所海老名支所	直接会場へ
7ヵ月児健康相談	4月23日(金) 9:30～10:00	保健相談センター	4年8月生まれの人	身長・体重測定、栄養・育児・歯科相談	保健相談センター	〃
1歳6ヵ月児健康診査	4月15日(木) 13:00～14:00	〃	3年10月生まれの人	診察、身長・体重測定、歯科検診	〃	〃
3歳児健康診査	4月16日(金) 13:00～14:00	厚木保健所海老名支所	2年3月生まれの人	診察、身長・体重測定、歯科検診、尿検査	厚木保健所海老名支所	〃
幼児歯科相談	4月14日(水) 13:00～14:30	〃	1歳7カ月～2歳11カ月児	歯の検診とみがき方（歯ブラシ持参）	〃	〃
小児整形外科相談	4月1日(木) 13:00～13:30	〃	18歳未満で特に心配のある人	身体障害のある乳幼児の早期発見、治療と療育指導	〃	予約制
障害児歯科相談	4月21日(水) 13:30～15:00	〃	6歳未満	歯科相談	〃	〃
離乳食講習会	4月9日(金) 9:30～10:00	保健相談センター	5カ月～7カ月児をもつ保護者	離乳食の作り方、与えるときの注意	保健相談センター	直接会場へ
お誕生前健康診査	対象は生後10ヵ月からお誕生日前日までの乳幼児。指定された医療機関でお受けください。					

※健診または相談を受ける方は必ず母子健康手帳を持参してください。

フォトピックス

250点を展示

緑化ポスター作品展

作品の前で足を止めて見つめる来場者

二月十七日から二十一日までの五日間、市緑化推進協議会（諏訪仁会長、11人）が主催する「緑化ポスター展」がニチイ海老名店三階文化ホールで開かれ、大勢の来場者でにぎわった。

このポスター展は、小中学生を対象に、身近な緑に対する関心と自然を大切にする心を育ててもらおうと募集したもので、今年で六回目。会場には、五百九十一点の応募作品の中から、入選した作品三十九点を含む二百五十点が展示された。

作品の中には、地球規模の緑の保護や自然破壊防止などを訴える作品もあり、来場者の目を引いていた。

親ぼく深めた

老人クラブが百人一首

会場には色鮮やかな花が展示

市総合福祉会館で、老人クラブの会員を対象とした「百人一首を楽しむつどい」が、二月十八日に行われた。

このつどいは、お年寄りが昔から慣れ親しんできた百人一首を通して、親ぼくと健康増進を図ろうと行われたもので、今年で五回目。

参加者は、二人一組になり、読み上げる札を取り合ったが、中にはお手付きをして、笑い出す場面も見られ、会員たちは楽しい一日を過ごしていた。

札を取る姿も真剣そのもの

ひと足早い春を満喫

市庁舎で「花き品評会」

二月二十五日、二十六日の両日、市庁舎一階ロビーに「春の使者」ともいわれるスイートピーやカーネーションなどの花花が展示され、訪れた人の目を楽しませていた。

これらの花々は、海老名市を含む三市一町の生産者で構成する湘南温室組合（根岸茂雄組合長、106人）主催による「花き持ち寄り品評会」の出品作で、百五十点が出品された。

審査の結果、市内からは奥田雅美氏（今里、50歳）のカーネーションが神奈川県知事賞を受賞。

出品作は二十六日の一般公開のあと直売されたが、市価より安いためすぐに売り切れてしまった。

人権問題を考える

ハンソンさんが講演

「私のみた日本の人権感覚」と題して、イーデス・ハンソンさんを招き、人権問題講演会が二月十八日、市役所で行われた。

同講演会は、人権問題の正しい理解と認識を深め、市民的権利と自由が完全に保証される明るい社会の実現を目指して、市と市教育委員会が行ったもので、約三百人が参加した。

ハンソンさんは、国際化の時代の中で世界中の政治的、社会的に抑圧された人の救済を目的としたアムネスティ活動への理解と関心を呼びかけ、「人権とは、人と人との違いを認め合うことだ」と力説。途中、ユーモアあふれる流ちょうな大阪弁で、笑いを誘いながらの講演だった。

人権問題を語るハンソンさん

海老名むかしむかし

☎33・3838（みんわみんわ）

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。

3月5日～3月18日　第133話　竜灯の松

3月19日～4月5日　第134話　食った！食った！

海老名むかしむかし

第298話　醤油樽の栓に追いかけられた話

国分寺台団地を横断する東名高速道路のガード下で「釣りをした」と言ったら、団地の人ばかりでなく地元の人でも昭和生まれの人は信用しないだろうが、団地造成前は、ガード下の百メートルほど下流に樽井の橋があって、その付近はよい釣場だった。

橋の少し上手で堂山堀と弁天堀が合流していたが、ここから鍛冶返しまでが通称「樽井の川」で、杉久保分になると釜坂川という名になった。

関東大震災のころまでは水量もあって水もきれいだったので、ハヤやウナギがたくさん溯上し、樽井の橋付近にはフナやコイも集まっていた。

下浜田の谷戸田の端に弁天様が祭ってあったので、今の大谷小学校の西側辺りを流れていた小溝を弁天堀と呼んだが、ここにはウナギがたくさんいて、穴釣りをするとリレー競走のバトンほどもある太いものがよくとれた。

そのころ、樽井の橋付近では、子供ばかりでなく、ときには大人たちもまじって釣りを楽しんだが、最近のように立派な釣道具があった訳ではない。釣ざおは手近にある篠竹で、うきは割れた下駄などを削った手作りのものだったが、醤油樽の栓などもよく使った。

秋晴れのその日は、天候の加減かハヤがたくさん釣れて誰のバケツからもパチャパチャ水音がしていた。

樽井には狐がいて人を化かすという話をいつも聞かされているので、心の中で魚と狐の関係を意識していたのだろう。子供たちはみんな明るいうちに帰ったが、子供たちにまじって釣りをしていた恒さんという酒好きなおじさんだけは一人残った。

背が低くて団子のように太ったこのおじさんは、性格も団子のように角がなく、善良で子供好きだった。いつも酔うと子供たちをからかったり、踊ってみせたりして、よいあそび相手になってくれた。

若いとき地芝居で「千代萩」の仁木弾正の役を演じたというのが自慢で、よく芝居の話をしてくれたが、こんな温健朴直な人が、よく仁木などという悪役をこなしたものだと不思議に思った。

酒さえあれば御機嫌で、どこへでも寝てしまったし、酔って六法（注）を踏みながら道を歩いたりしたので、知らない人は驚いて避けて通ったが、道端に寝たまま寝六法を踏んでいることもあった。

この日も始めから酒臭かったが、その上にときどきぴんと詰めの酒をらっぱ飲みしていた。

うきがピクピク動くので、静かにしていてくれればよいと思うのに、恒さんは例の仁木弾正の話を、大きな声で周りの子供たちに聞かせていた。また、目の使い方が難かしいのだと言って寄せ目をして見せたり、目玉をぐるぐる回して見せたり、わざわざ釣ざおを下に置いて足で踏んでおさえながら、巻物をくわえて印を結ぶところをやって見せたりした。

術を使ってネズミに化け、盗んだ巻物をくわえて逃げ込んだところを、豪傑男之助につかまり、眉間に鉄扇をくらって術が破れ、額に血をにじませてせりで舞台に現れた弾正が、懐紙を出してその血を拭き、血のりのついた懐紙を睨んでにやりと笑うのだが、この「にやり」が難かしいのだなどと、うきが動いているのも一向に気にしないで身ぶり手ぶりで話すのだが、話の内容がわからない子供たちはみんな自分のうきの動きのほうを気にしていた。

後で聞いた話だが、恒さんは子供たちがみんな帰った後も、酒を飲みながら一人で暗くなるまで釣りをしていたらしい。

手もとが見えなくなったので、枕に掛けて浸しておいた魚籠を引き上げ、ほろ酔い気嫌の千鳥足で家路についたが、誰かが後から「ころころ」と下駄の音をたてて来るので、てっきり狐に狙われたと思って足を速めたが、いくら急いで走っても速度を合わせて「ころころ」という音が追ってくる。

何度ふり返って見ても人の姿はないし、それらしいものは全く見えないので酔いもすっかり醒めて、

「みんなやるからついてくるな！」

と魚籠を放り出して逃げ帰ったが、その足音はとうとう家までついてきて、入口で消えた。

翌朝、下駄をはいたらささくれた下駄の歯に釣糸がくい込んでいて、その先に釣りに使った醤油樽の栓がついていた。

酔って釣糸の始末もしないで引き上げたので、切れた糸が下駄の歯に引っかかっていることに気がつかなかった訳で、何のことはない、釣りに使った醤油樽の栓に追いかけられて逃げたのだった。

狐に化かされたという人の話を聞くと、ほろ酔い機嫌の場合が多いようだが、案外自分で自分を化かして騒ぎ立てている人もいるのではないかと思う。

不動講の晩、恒さんの話を真剣に聞いていた人たちは、正体が樽の栓とわかって笑い転げたが、当の恒さんは心外だという態度で口を尖らせ、

「みんな他人事だと思って笑っているが、自分がその立場だったらふるえあがって逃げただろうし、きっと一晩中眠れなかっただろうよ。わしは追っかけてきた足音の正体がわからなければ、金輪際樽井へは釣りに行かないつもりだった」

にっこりともしない恒さんのまじめな顔に、またひとしきり笑い声が渦巻いた。

注　六法…勇気凛々たるところを示すため、手を振り足を高く上げて勢いのよいところを見せる身ぶり。

（小島　直司）